

プリムラ・マコイデス

桜草の仲間です。この花が好きで、毎年栽培して卒業式の会場を飾ったりしてきました。現在勤務している学校でも栽培しています。

しかし、同じように育った苗を同じ日に鉢やプランターに植えかえたのですが、育ち方が2つにわかれています。片方はひょろひょろと草丈が高く、長い茎の先に花を咲かせています。もう一方は、丈は低く、横に広がり、葉も肉厚で、つぼみをたくさんつけているものもあります。花はまだです。

もう、お分かりのことと思います。前者は空き教室で、後者は昇降口で育てています。

昇降口のものには、寒さに負けて消えてしまうものもありましたが、寒風や霜に打ち克って育っている花はパワーがあります。じっくりと力を蓄え、時が来るのを待っています。一気に花開く季節を。

サッカーGAMBAの子達と同じです。

10・2・20 (土) 南NEWS NO51

飛田です。

藤野FC 2000 招待で優勝しました。素晴らしいサッカーを見せてくれました。写真(成井さん提供)も添付します。よろしくお願ひいたします。

おめでとう！！

藤野FC2000 招待 優勝！！ (2/14 相模原市名倉グラウンド)

○南八王子 対 藤野FC 6-0 (前半3-0)

得点者 片寄安さん(2)、成井さん、田中さん、片寄優三、矢久保さん

前日の雪でグラウンドはぐちゃぐちゃ。しかも朝一番の寒い中での試合なので、「体が動かないのでは？」と心配しましたが、たくさん走ったウォームアップが有効だったのか、試合開始からドロハネを上げながらホームの藤野さんに走り勝っていました。

特に片寄姉妹や漆間さんを中心にドロドロを全く気にしない鋭い突破が有効でした。さらに周りの選手も連動してよく動き、どんどんゴール前に顔を出したことが、多彩なゴールにつながりました。

○南八王子 対 つくい中央 2-0 (前半0-0)

得点者 片寄優さん、成井さん

凍結したグラウンドが完全に溶けて、ピッチは最も悪い状態だったため、思うようなサッカーができずに前半は無得点でした。細かいドリブルを意識しすぎて、ドロドロにはまってボールを奪われたり、インサイドキックのパスがドロで止まって相手に奪われるなど、逆にそうした場面から何度も逆襲に会いました。こういうコンディションではどれすれば良いかを自分たちで考え実行することが大切です。ボールが止まるのであれば、細かいドリブルではなく大きく蹴って走りこむ、強く踏み込むことができないピッチでは、トーキックも使う などで。チャンスを作りますがゴールを奪えずに重苦しい雰囲気が続きましたが、ようやく後半5分に3年生片寄優さんのドロドロに負けないドリブル突破からゴールが決まり、なんとか勝利につながりました。

○南八王子 対 原FC(横浜) 5-0 (前半3-0)

得点者 西條さん、片寄安さん、片寄優さん、成井さん、田中さん

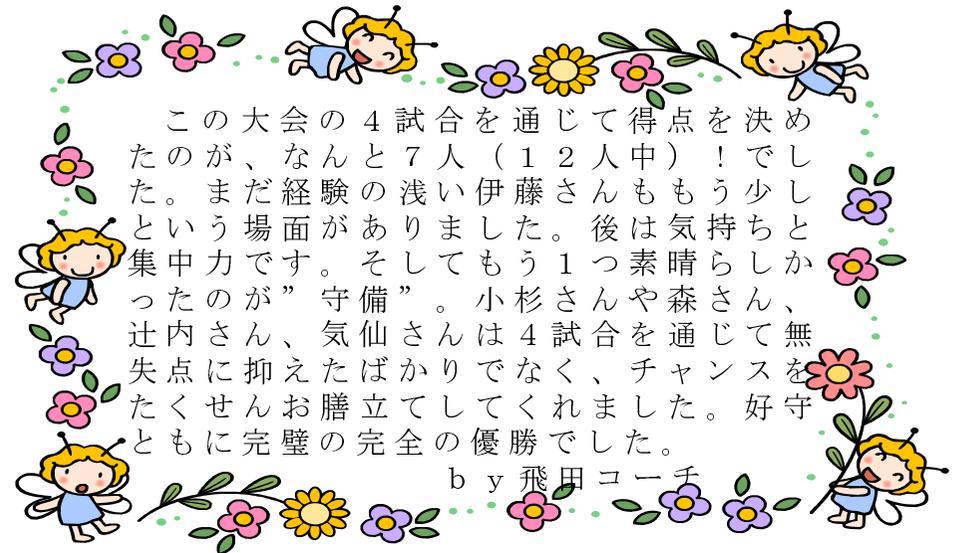
この試合は相手を圧倒しました。エースの成井さんがベンチにいても勢いは全く変わりませんでした。右からは漆間さん、左からは片寄優さんが相手のサイドをドリブルで深くえぐりチャンスを作りました。クリアボールはボランチの矢久保さん、気仙さんがことごとくマイボールにして攻撃が途切れることはありませんでした。今までチャンスメイクしていた西條さんの初得点も決まり、3試合目を終えた時点で、ほぼ優勝を決めてしまいました。



○南八王子 対 山中湖 3-0 (前半2-0)

得点者 漆間さん(3)

これまでの3試合、得意のドリブルからチャンスをたくさん作ってくれた漆間さんでしたが、なぜか得点はありませんでした。それが判っていたからでしょうか、相手のハンドで得たPKのキッカーにみんなに指名されたのは漆間さんでした。緊張もなく軽く決めてくれましたが、この得点で吹っ切れたのでしょうか。この試合ではなんとハットトリック。優勝に「花菜」を添えてくれました。そしてこの活躍により、この大会の優秀選手にも選ばれました。



この大会の4試合を通じて得点を決めたのが、なんと7人(12人中)！でした。まだ経験の浅い伊藤さんももう少しという場面がありました。後は気持ちと集中力です。そしてもう1つ素晴らしいのが”守備”。小杉さんや森さん、辻内さん、気仙さんは4試合を通じて無失点に抑えたばかりでなく、チャンスをとくせんお膳立てしてくれました。好守とともに完璧の完全の優勝でした。

by 飛田コー子